

事務事業名		緑の少年団育成事業					評価区分(事前評価・事後評価)			事後評価(A・B表)	
政策体系	基本目標	1 地域の特色を活かした快適なまちづくり					担当組織	担当部	都市建設部	担当課	都市整備課
	政策	3 環境にやさしいまちづくり					担当係	管理係	担当課長名	小野英世	
	施策	2 良好な生活環境と豊かな自然環境の保全					新規事業・継続事業		継続事業		
	基本事業	3 自然保護活動の充実と環境学習の推進					実施計画事業・一般事業		一般事業		
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名					
	11702	一般	8	4	5	緑の少年団育成事業					
	事業区分	市単独事業・国県補助事業		市単独事業			任意的事業・義務的事業		任意的事業		
事業計画	期間限定複数年度	事業期間	H4年度～H26年度		根拠法令 条例等	実施方法		直営			
						事業分類		支援事業			
						リーディングプロジェクト		該当なし			
						市長マニフェスト		該当なし			

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)								
事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)		平成26年度実績(平成26年度に行った主な活動内容)						
佐野市緑の少年団連絡協議会に補助金を交付し、緑の少年団が行う環境緑化作業、栽培学習、地域社会への奉仕活動を支援している。 佐野市緑の少年団連絡協議会は、自然に親しみ、緑を愛し、これを守り育てるためにお互いに力を合わせて、学校や社会に役立つ自主的な実践活動を行う、各学校の児童・生徒を構成員とする団体である。		(市の活動) ・佐野市緑の少年団連絡協議会に補助金を交付するための手続き。 (佐野市緑の少年団連絡協議会の活動) ・環境緑化作業、栽培作業、地域社会への奉仕活動。						
		活動指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)
		補助金の交付回数	回	1	1			
② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)								
佐野市緑の少年団連絡協議会に加盟する学校		対象指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)
		緑の少年団加盟校数	校	7	7			
目的								
③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)								
児童生徒の自主的活動を生かした勤労体験学習を行い、学校環境緑化活動を推進し、望ましい勤労観、職業観を育成し、人生をより豊かに生き抜こうとする心情を育成する。		成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)
		計画どおり活動した緑の少年団数/緑の少年団加盟校数	%	100.0	100.0			
④ 結果(どのような結果に結びつきますか?)								
快適な住環境創出のため、公園等が整備されている。		上位成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)
		市民1人当たりの都市公園面積	m ²	18.27	18.36			

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費	投入量	財源内訳	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)	
		国庫支出金	千円						
		県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円	119	60				
		一般財源	千円						
		事業費計(A)	千円	119	60	0	0	0	
		事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
				補助金	119	補助金	60		
		正規職員従事人数	人	1	1				
		のべ業務時間	時間	20	20				
		人件費計(B)	千円	78	79	0	0	0	
		トータルコスト(A)+(B)	千円	197	139	0	0	0	

事務事業名	緑の少年団育成事業	担当部	都市建設部	担当課	都市整備課	担当係	管理係
-------	-----------	-----	-------	-----	-------	-----	-----

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	昭和59年度に佐野市立赤見中学校に緑の少年団が結成され、平成4年度から北中学校、石塚小学校、赤見小学校に発足、同年10月に流出原小学校に発足し活動を始めた。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	全国緑の少年団連盟が一堂に会する全国大会・活動発表大会等がある。栃木県緑の少年団数は平成12年度150校、平成13年度154校、平成14年度166校、平成15年度180校、平成16年度191校であり、平成17年2月には京都議定書が発効され、緑の環境が重視されてきた。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	平成18年2月議会一般質問の中で地球温暖化防止について、森林の力を健全に機能させ子孫に継承していくことが市民に課せられた義務ではないかとの意見と佐野市内にある緑の少年団の活動状況と今後の進め方を聞かれている。

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
事業のやり方改善(コストの見直し)	補助金を減額した。

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	
	結びついている	理由・改善案 次世代を担う子供たちが、緑と親しみ、緑を愛し、緑を守り育てる活動を通じて、ふるさとを愛し、そして人を愛する心豊かな人間に育っていくことを目的としており、緑を守り育てる基礎につながるため結びつく。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	
	市が行わなければならない	理由・改善案 地球温暖化防止について、次世代を担う子供たちや都市部に住む人々へ自然のすばらしさ、自然が生活に与える重要性を伝え、森林の力を健全に機能させ子孫に継承していくため、活動費用の一部助成は妥当性がある。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	
	妥当である	理由・改善案 対象は児童生徒であり、自主的活動を生かした勤労体験学習を行い、森林・緑の中での活動を通して子供たちの心の中に緑の重要性を認識させるため、継続していくことは妥当である。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	
	成果向上余地がない	理由・改善案 事業終了のため成果向上余地はない。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	
	類似事務事業があり統合・連携できる・している	理由・改善案 類似事務事業名 小学校特色ある学校づくり支援事業、中学校特色ある学校づくり支援事業 類似事業における交付金との一元化を図るため、補助金を減額している。 * 類似事務事業があれば、名称を記入
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	
	事業費・人件費共に削減の余地がある	理由・改善案 事業終了のため事業費・人件費共に削減の余地がある。
公平性 評価	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	
	受益者負担を求める必要がない	理由・改善案 児童生徒の緑化を通じた学習活動や奉仕活動等を支援し、団体の育成を図るものであり、受益者負担を求める必要がない。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)	
	事業期間の終了に伴い本事業は終了とする。	

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																					
事業終了	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。																						
* 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。 (複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持			×	低下		×	×	
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持			×																			
	低下		×	×																			